東京　明治十七年十一月十七日　月曜日　第八百十五號　日曜日休刊　定價金三錢

公報

○農商務省達第三十三號　滋賀岐阜愛知海岸縣

明治十二年內務省丙第三十四號并丙第五十四號達海員雇入雇止證書及航海免狀檢査證書用紙別紙樣式ノ通リ改正候條此旨相達候事

但證書用紙ハ當分新書受用スルコトヲ得

明治十七年十一月十五日　農商務卿　西鄕從道　（別紙畧ス）

敍任

○明治十七年十一月十四日

敍正五位　奈良原繁

敍從五位　野田益晴

仝　飯田俊德

仝　宮島信吉

仝　山口縣一等屬　頓野馬產

任山口縣少書記官　正木基介

任山口縣吉敷郡長

從五位

正六位勳五等

陸軍報

其利ヲ享ル者ニ其費用ヲ均分スベシ

公共ノ業ハ公共ノ負擔タル可キ固ヨリ論ヲ俟タズ又其業ノ大小モ局ニ當ル公共ノ大小貧富ニ相應ス可キヿ當然ノ數ナリ例ヘバ河ニ橋ヲ架スルトセンニ其業ハ地方ノ公共ニ關スルモノナレバ地方人民ノ負擔ス可キ所ニシテ其橋ノ大小美惡モ亦其人民ノ力ニ相當ス可キヲ要ス東京隅田川ノ五大橋ノ如キ先ヅ日本國中ニテハ最モ壯麗ナルモノナレ𪜈田舍地方ニテ間樣ノ大河アルモ其橋ハ所謂土橋カ又ハ極メテ粗惡ナル木橋タル可キニ過ギズ蓋シ東京ハ我中央ノ帝都ニシテ一處ニ結合スル市民ノ數モ多ク其資產モ亦田舍地方ニ比シテ遙ニ其右ニ出レバナリ

右ハ誠ニ尋常一樣ノ道理ニシテ誰レモ知ル所ナレ𪜈爰ニ動モスレバ世人ノ注目ヲ道レテ起業ノ企ヲ妨ル一箇條アリト申スハ他ニ非ズ起業家カ其業ヲ成シタル上ニテ幾歲月ノ間人民ヲシテ利スル所アラシム可キヤト云フ其歲月ノ長短ヲ忘ル、事ナリ例ヘバ橋ヲ架スルニ木ヲ以テスレバ十年ヲ保ツ可シ鐵石ヲ以テスレバ二百年ニ堪ユ可シ即チ木橋ハ人民ヲシテ十年ノ便利ヲ得セシメ鐵石橋ハ二百年ヲ便利スルモノナリ然ルニ即時架橋ノ費用ヲ聞ケバ木ハ手輕ニシテ鐵石ハ大業ナルヿ固ヨリ論ヲ俟タズ是ニ於テ起業家ハ其地方ノ狀況ヲ察シ其人民ノ貧富ヲ視テ必算ヲ運ラシ目下ノ有樣ニテハ斯ル大業ハ迚モ實施シ難キヿナリ俗ニ所謂今ノ御時節柄ニハ申出ス譯ケニモ參ラズトテ鐵橋論ノ廢案タルガ如キハ世上ニ往々見聞スル所ナリ然リト雖モ實際ノ利害ニ於テ我輩ノ所見ヲ以テスレバ木ト鐵石トノ比較十年ト二百年トニ等シクシテ人民ノ利スル所正シク二十倍ノ差アリテ仮ニ鐵石橋ヲ架スルノ費用ヲ木橋ニ比シテ十倍トスルモ便利ハ二十倍ニシテ費用ハ十倍ナルガ故ニ現ニ十倍ノ利アルヿ疑フ可ラズト雖モ之ニ着手セザルハ何ゾヤ唯目下ノ有樣今ノ御時節柄ナルモノニ妨ケラレテ利ヲ案ルモノナリト云ハザルヲ得ズ這ハ畢竟エヂルナリ

抑モ目下ノ有樣ト云ヒ今ノ御時節柄ト云フハ唯公共人民ノ實力ニ乏シトノ意味ニシテ實ニ其時代ノ樣ヲ見レバ迚モ大業ヲ起スノ望ナキニ似タリト雖モ元來公共ノ經濟ハ一私家ノ營業ニ異ニシテ公共ノ信用保証ヲ以テ實金借却ノ期限ヲ後ニスルヲ得ベシ其借期ヲ後ニシテ一年ニス可キヲ十年ニ又百年ニス可キヲ百年ニスルトハ恰モ鄕村學ノ定則ニ殺ケルガ如ク物ノ重力ヲ時ニ平均シテ其負擔決シテ重キモノニ非ズ然ルニ起業家ガ唯其業ノ大ナルヿ一目シテ負擔ニ堪エズト稱スルハ實金借却ノ期限ヲ急ニセントシテ其方法ヲ得ザルガ爲ニ起ル落膽斷念シタルモノ、ミ左レバ今其借却法ヲ緩ニスルトシテ其緩急ハ何ヲ標準ニス可キヤト尋ルニ先ツ其事業ノ性質ヲ吟味スルヿ緊要ナラン前ノ例ヲ再用シテ爰ニ橋ヲ架スルニ木橋ナレバ其費用ヲ十年ニ償却シ鐵石橋ナレバ百年以上ニ償却スルノ法ヲ立ル等何レモ其業ノ成リ上ニテ人民ヲ利スルハ歲月ノ長短ニ從テ緩急スル所アル可シ如何トナレバ十年ノ便利ヲ致スモノハ十年間ノ人ニテ之ヲ負擔ス可キヿ道理ノ誠ニ明白ナルモノナレバナリ世ノ起業者ハ往々此暗易キ數理ヲ忘レテ事業ヲ急ニスルト共ニ其資本ノ償却法ヲモ急ニシ其法ヲ得ズシテ落膽スル歟、若クハ大ニ奮發シテ事ヲ起シ百年間ノ人民ニ負擔ス可キモノヲ僅ニ三五年ノ間ニ償却セントシテ大ニ人ヲ苦マシムルモノナキニ非ズ今日道路ヲ作ルハ百年ニ百年ノ後ヲ我ガ孫モ曾孫モ玄孫モノヲ利用スルモノナルニ開道何日間ニ業ヲ終リ其資本ハ何月間ニ償却シ了リダリトテ之ヲ誇ルナドハ大ナル間違ナラズヤ子孫永遠ノ荷物ヲ今年今月ノ我一身ニ擔ハシメントスル歟無算モ亦甚シト云フ可シ

近日聞ク我東京府ニテハ東京灣築港、東京市區改正、上水下水疏通ノ方案等ヲ計畫スト云フ何レモ大事業ニシテ蓋シ幾千萬圓ヲ費スヿナラン就テ我輩ノ願フ所ヲ云ヘバ其規模ハ勉メテ洪大ニシテ完全遺憾ナキヲ目的トシ扨其費用ニ至テハ幾千百萬ノ數ノ聲ニ驚クヿナク休メ目下ノ有樣今ノ御時節柄ニ拘ハラズ先ツ第一ニ其築港以下ノ諸件ガ成功ノ上幾歲月ヲ持續シテ府民ニ幾許ノ便利ヲ開與ス可キヤヲ豫定シ又其歲月ノ間ニ要スル修繕費ヲモ加算シテ果シテ確實ナル數ヲ得タル上ハ其償却ヲ緩ニシ府民ガ是等ノ便利ヲ享ケテ隨テ生スル其利益ヲ以テ間接ニ直接ニ幾十百年ノ期限ニ拂込マシムルノ法ヲ立テ獨リ今世ノ人ノミ利スルモノナレバ今人ヲ限リ、今人ト後世人ト利ヲ共ニスルモノナレバ今世ト後世ト共ニ之ヲ負擔セシメ、又或ハ今人ニ即利ナク唯後世ヲ利スルノミノ事業ナラバ其費用ノ負債ヲモ後世ニ遺シ後人ヲシテ獨リ其責ニ任セシム可キノミ尙其邊ニ付鄙見モアレバ時ニ隨テ開陳スル所ノモノアル可シ

電報

○十一月十四日龍動發　英國政府ハ下院ニ向テ埃及事件ノ爲メ陸軍增費トシテ一百萬磅海軍增費トシテ三十二萬四千磅ヲ請求シ又亞弗利加ノベナウアナノ豫備軍費トシテ一大費額（額數知れず）ノ支出ヲ請求セリ

○十一月三日龍動發　英國將軍ウオルセレイ卿ハドンゴラヨリ到着シタリ○グーリー、ココースハゴルドン將軍カルツームニ於テ僞王マーヂの軍凡そ二萬五千の攻撃を破却し敵の死亡莫大なりとの電報を揭載せり

○十一月五日閣議發　英國下院にて長々しき討議の末、王室よりの演說に對する答文と投票したり○メイヨル、キッチナルハゴルドン將軍僞王マーヂの招降と拒絕しさりとの電報を發したり

○十一月六日閣議發　英國下院あてい十一月中第一着に撰擧權擴張案を熟議す可しと決定せり

○十一月十四日龍動發　英國政府ハ下院ニ向テ埃及事件ノ爲メ陸軍增費トシテ三十二萬四千磅ヲ請求シ又亞弗利加ノベナウアナノ豫備軍費トシテ一大費額（額數知れず）ノ支出ヲ請求セリ

○十一月三日龍動發　英國將軍ウオルセレイ卿ハドンゴラヨリ到着シタリ○グーリー、ココースハゴルドン將軍カルツームニ於テ僞王マーヂの軍凡そ二萬五千の攻撃を破却し敵の死亡莫大なりとの電報を揭載せり

○十一月五日閣議發　英國下院にて長々しき討議の末、王室よりの演說に對する答文と投票したり○メイヨル、キッチナルハゴルドン將軍僞王マーヂの招降と拒絕しさりとの電報を發したり

○十一月六日閣議發　英國下院あてい十一月中第一着に撰擧權擴張案を熟議す可しと決定せり

雜報

○皇太后宮行啓　皇太后宮ハ明十八日日比谷大神宮親古美術會ヘ行啓遊ばさるべき筈の處來る廿一日午前八時三十分ハ御出門にて同會ヘ行啓遊ばされ辰ノ口勤工場ヘ立寄らせ給ふ旨昨日更に仰出されたり右ハ付同勤工場ハてゝ入口の掃除等夫々用意中なりと云ふ

○昇任の祝宴　北白川宮ハ先頃少將に昇進したる祝ひとして昨十六日永田町の自邸へ皇族、大臣、參議、陸軍各將校を招請して饗筵を開られさるよし

○米國新大統領　米國大統領更撰ハ結果い未た判然たらされ共一昨日の紙上に揭けたる如くプレーン氏い十八州の投票合せて百八十二を得、クリヴランド氏い十九投票合せて百八十三を得、二氏得點の差い唯一點のみなれ共此外に紐育の一州い未タ詳ならずと云ヘバ紐育一州は固よりクリヴランド氏の勝方なるが故ニ今回の當撰者い多分クリヴランド氏ならんと

○佛軍淡水の占領　去る十三日清國特別通信欄內に揭けし本社特派通信員本多君よりの通信に近々の內東京よりの佛國援兵臺灣に來着可致候に就き孰れ其中淡水を占領し北臺灣の始末を附くるなんと被存候云々とありしが佛軍い既ニ援兵を得たるものと見え同君より一昨日左の電報到達したり

十一月十五日午後六時十二分上海發

佛軍淡水を占領せしい實說なり

右電報の如く佛軍急淡水と占領する上は特派通信員の報道通り本年も最早暮秋、追々冬枯る時ともなれバ佛軍ハ差當り冬營を臺灣に張り其名產の砂糖と茶で甘く淡泊に嶺越しをるならんと思ふ

○廈門在留英國領事の告示　廈門在留英國領事フオレスト氏い臺灣諸港に入んとする船舶ニ對し左の告示を爲したり

今般佛軍指令長官い臺灣諸港封鎖を告示せるにより此出港免狀い總べて在臺灣佛國海軍掛官の設置すべき諸規則に准して附與するものとす」各船舶臺灣港口を封鎖する佛國軍艦に近接するときハ必ず其進行を止むべし（中略）若し佛國軍艦來りて船內を檢査せんことを要するとハ決して之を拒むべからず」若し佛艦れ掛官に於て該船舶の入港を拒むときハ該船舶い直に退去せざるべからず

○佛國和議を望む　佛清間に和議の風說あるよしい前に記載せしが此程到着したる去月上旬發兌の龍動新聞を見るニ「佛清ノ關係ニ就テハ種々ノ風說アレ共孰レカ信僞ナルヲ知ラズ左レ共佛國政府ハ若シ首尾能ク此局ヲ結ブベキ方便ヲ得バ喜ンデ之ヲ採用センヿ疑ナシ代議院ニテモ此上又々巨額ノ軍費ヲ出スヿヲ欲セザルベシ殊ニ近々議院ノ總撰ニ際スルガ故ニ政府ノ費用ヲ增加スルガ如キハ其最モ好マザル所ナラン又巴里ノ半官報等ハ概シテ佛軍若シ今一タビ支那ヲ攻撃セバ佛國ノ面目ハ充分ナルガ故ニ其上ニテハ支那ト和睦スベシト云ヘリ左レバ今日ノ所ニテハ遠カラズ佛清兩國ノ間ニ再ビ和議ノ談判ヲ開クベキ勢アリ」と見えたり若し佛國の內情をして果して右の如くならしめば其後佛軍が雞籠を占領し又此度淡水をも攻略したるい則ち前文に云ふ所の今度び支那を攻撃せば云々ス當るべ故ニ佛國い是にて其腹を癒し是よりソロ〳〵和睦の相談ニ取掛る積りなるかも知れぬ